

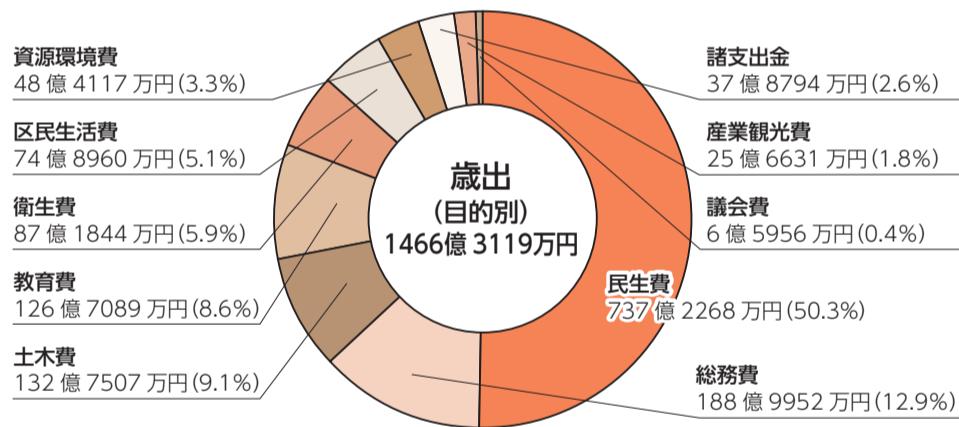
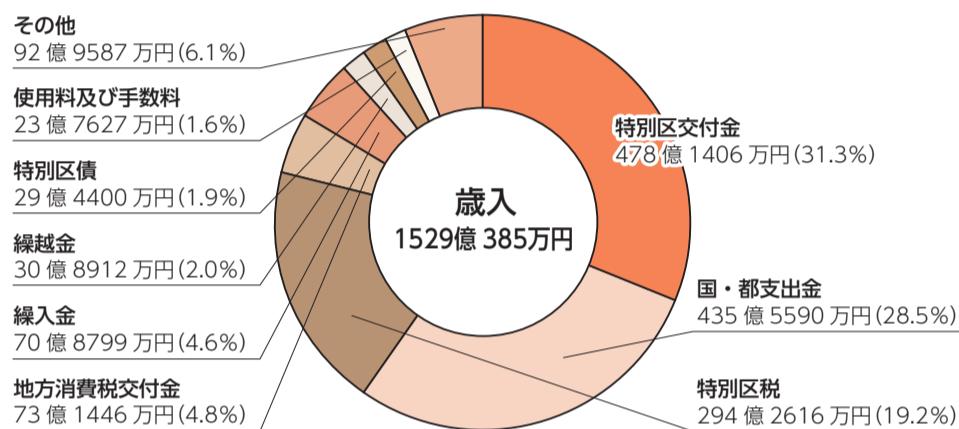
令和6年度決算と 7年度上半期の財政状況

6年度決算のあらまし

6年度一般会計の歳入面では、国庫支出金が減収したものの、特別区税や特別区交付金等の増収により、全体として前年度決算額を上回りました。こうした中で、すみだ保健子育て総合センターの開設による、組織の枠を超えた切れ目ない子育て支援や健康危機管理体制の強化など、区民サービスの更なる充実を図ったほか、社会経済活動が着実に正常化への歩みを進める中で、時機を捉えた区政運営を行いました。結果として、6年度の一般会計歳入歳出差引額は、62億7266万円の黒字決算となり(図1)、また、3つの特別会計も、黒字決算でした(表1)。

この決算を、自治体の財政状況を判断する指標で見ると、財政の弾力性を示す経常収支比率は、78.5%(前年度78.9%)でした。また、公債費に充当した一般財源の割合を示す公債費負担比率は、2.7%(前年度3.3%)でした(図2)。

■ 6年度一般会計決算の歳入・歳出の内訳(図1)



6年度一般会計歳出決算額の区民1人当たりの使い道

6年度一般会計歳出決算額を人口28万7302人(7年1月1日現在)で割った、区民1人当たりの金額51万373円の使い道は下表のとおりです。

| 区民1人当たりの6年度一般会計歳出決算額 51万373円 | | | | |
|------------------------------|-------------------------|--------------------|---------------------|-------------------|
| 福祉の充実(民生費) | 防災対策、行政情報化、広報、区民相談(総務費) | 公園・道路管理、まちづくり(土木費) | 学校教育、地域教育(教育費) | 健康の増進、感染症の予防(衛生費) |
| 25万6603円 | 6万5783円 | 4万6206円 | 4万4103円 | 3万346円 |
| 文化・スポーツ振興(区民生活費) | 環境保全、清掃、リサイクル(資源環境費) | 特別区債の償還など(諸支出金) | 産業・観光振興、消費生活(産業観光費) | 議会の運営(議会費) |
| 2万6069円 | 1万6850円 | 1万3185円 | 8932円 | 2296円 |

区では、区の予算と収入・支出の状況を年2回公表しています。今号では、令和6年度の各会計決算と7年度上半期の財政状況をお知らせします。詳細は区HPでもご覧になれます。

[問合せ]財政担当☎5608-6232

※端数処理により数値の合計が合わない場合があります。

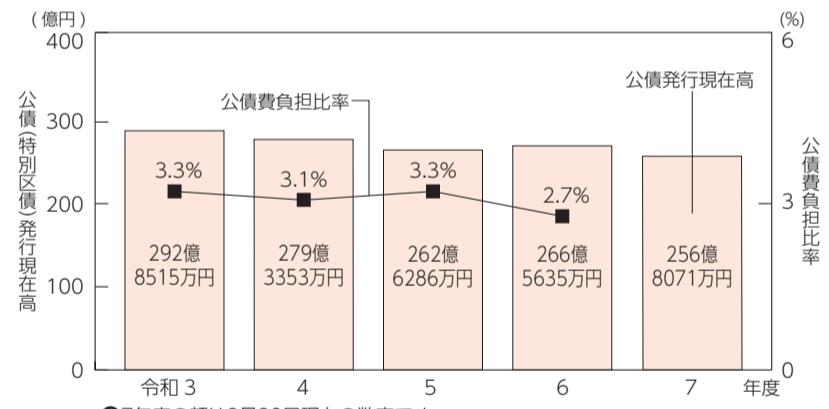
■ 6年度特別会計決算の歳入・歳出の内訳(表1)

| 国民健康保険特別会計 | 歳入 | 国民健康保険料 | 69億1946万円 | 25.1% |
|------------|----|--------------|------------|--------|
| | 歳出 | 国・都支出金 | 164億154万円 | 59.6% |
| | 歳入 | 繰入金・その他 | 42億1098万円 | 15.3% |
| | 歳出 | 歳入合計 | 275億3198万円 | 100.0% |
| 介護保険特別会計 | 歳入 | 保険給付費 | 160億841万円 | 59.9% |
| | 歳出 | 国民健康保険事業費納付金 | 92億3974万円 | 34.5% |
| | 歳入 | 総務費・その他 | 14億9637万円 | 5.6% |
| | 歳出 | 歳出合計 | 267億4452万円 | 100.0% |

| 後期高齢者医療特別会計 | 歳入 | 介護保険料 | 47億3286万円 | 20.0% |
|-------------|----|---------|------------|--------|
| | 歳出 | 国・都支出金 | 84億7790万円 | 35.8% |
| | 歳入 | 支払基金交付金 | 60億6562万円 | 25.6% |
| | 歳出 | 繰入金・その他 | 43億9736万円 | 18.6% |
| 後期高齢者医療特別会計 | 歳入 | 歳入合計 | 236億7374万円 | 100.0% |
| | 歳出 | 保険給付費 | 216億1135万円 | 92.7% |
| | 歳入 | 総務費・その他 | 17億647万円 | 7.3% |
| | 歳出 | 歳出合計 | 233億1782万円 | 100.0% |

| 後期高齢者医療特別会計 | 歳入 | 後期高齢者医療保険料 | 32億1174万円 | 44.3% |
|-------------|----|------------|-----------|--------|
| | 歳出 | 繰入金・その他 | 40億4533万円 | 55.7% |
| | 歳入 | 歳入合計 | 72億5707万円 | 100.0% |
| | 歳出 | 広域連合納付金 | 64億5661万円 | 90.5% |
| 後期高齢者医療特別会計 | 歳入 | 総務費・その他 | 6億7688万円 | 9.5% |
| | 歳出 | 歳出合計 | 71億3349万円 | 100.0% |

■ 公債(特別区債)発行現在高と公債費負担比率の推移(図2)



7年度上半期の財政状況

通商政策などの影響により、景気の先行きは不透明感が強まっています。7年度の区政運営においては、誰一人取り残さない行政サービスの改革に取り組むとともに、より一層の財政健全化を進め、強固な財政基盤の構築に努めています。

7年度上半期の収支状況は下表のとおりです(表2)。

■ 7年度予算の上半期の収支状況(9月30日現在)(表2)

| 会計区分 | 予算現額 | 収入額 | 支出額 |
|-------------|-------------|-----------------------|----------------------|
| 一般会計 | 1493億2943万円 | 588億7032万円 (39.4%) | 558億767万円 (37.4%) |
| 国民健康保険特別会計 | 269億2900万円 | 109億2607万円 (40.6%) | 92億6816万円 (34.4%) |
| 介護保険特別会計 | 238億1600万円 | 112億4975万円 (47.2%) | 98億6509万円 (41.4%) |
| 後期高齢者医療特別会計 | 71億6685万円 | 33億3717万円 (46.6%) | 23億3841万円 (32.6%) |

※収入額・支出額欄の()内の数字は、それぞれの予算現額に対する割合です。

6年度決算に基づく財務書類

国が定めた「統一的な基準」による財務書類(表3～表6)を公開します。

■ 貸借対照表(表3)

会計年度末(基準日)時点で、区がどのような資産を保有し、その資産がどのような財源で賄われているのか、また、将来支払わなければならない負債がどのくらいあるかを示した表です。6年度は、資産合計(A)が約4289億円、負債合計(B)が約492億円、純資産合計(C)は約3797億円となりました。

【資産の部】

| 借方 | 6年度末 |
|-----------------|--------------|
| 固定資産 | 3898億 2286万円 |
| 有形固定資産(土地、建物等) | 3413億 7122万円 |
| 無形固定資産(ソフトウェア等) | 3億 7425万円 |
| 投資その他資産(出資金等) | 480億 7739万円 |
| 流動資産 | 390億 5420万円 |
| 現金預金 | 118億 7785万円 |
| 未収金 | 13億 514万円 |
| 短期貸付金 | 1億 3618万円 |
| 基金 | 258億 9040万円 |
| 徴収不能引当金 | △ 1億 5537万円 |
| 資産合計 (A) | 4288億 7706万円 |

【負債・純資産の部】

| 貸方 | 6年度末 |
|----------------|--------------|
| 固定負債 | 404億 8166万円 |
| 地方債 | 241億 1306万円 |
| 長期未払金 | 16億 4829万円 |
| 退職手当引当金 | 136億 4875万円 |
| その他 | 10億 7155万円 |
| 流動負債 | 86億 8613万円 |
| 1年内償還予定 地方債 | 25億 4329万円 |
| 未払金 | 4億 9003万円 |
| 賞与等引当金 | 17億 1437万円 |
| 預り金 | 37億 5229万円 |
| その他 | 1億 8614万円 |
| 負債合計 (B) | 491億 6778万円 |
| 純資産合計 (C) | 3797億 928万円 |
| 負債・純資産合計 | 4288億 7706万円 |

■ 行政コスト計算書(表4)

行政サービスに要したコスト(費用)と、受益者負担等の収益を示した表です。6年度は、純経常行政コスト(C)が約1722億円に対し、臨時損失(D)が5250万円、臨時利益(E)が370万円でした。その結果、純行政コスト(F)は約1722億円となりました。このコストは、区民の皆さんの税金や国・都からの交付金などで賄われています。

| 区分 | | 総額 |
|-----------------------|------------------------|------------------|
| 業務費用 | 人件費(職員給与費、退職手当引当金繰入額等) | 217億 2746万円 |
| | 物件費等(物件費、減価償却費等) | 404億 4464万円 |
| | その他の業務費用(徴収不能引当金繰入額等) | 7億 5213万円 |
| 移転費用 | 補助金等 | 724億 3542万円 |
| | 社会保障給付 | 407億 3687万円 |
| | その他 | 15億 3299万円 |
| 計 | | (A) 1776億 2952万円 |
| 経常収益 | 使用料及び手数料 | 23億 7577万円 |
| | その他 | 30億 8181万円 |
| | 計 | (B) 54億 5758万円 |
| 純経常行政コスト | (C) = (A) - (B) | 1721億 7195万円 |
| 臨時損失 | 資産除売却損等 | 5250万円 |
| | 計 | (D) 5250万円 |
| 臨時利益 | 資産売却益 | 370万円 |
| | 計 | (E) 370万円 |
| 純行政コスト | (F) = (C) + (D) - (E) | 1722億 2074万円 |
| 区民1人当たりの行政サービスに要したコスト | | 約60万円 |

②区民1人当たりの行政サービスに要したコストは、7年1月1日現在の人口1人当たりで算出しています。なお、公共施設の整備などの資産形成につながる支出は含まれません。

■ 主要な公共施設にかかるコスト計算書

主要な公共施設における施設全体のコスト(人や管理運営にかかるコストなど)の状況を明らかにし、区民1人当たりの税金充当額など単位別のコストを示した表です。これらのコストを基に、より効率的・効果的な施設の管理運営に努めています。

| 施設名称 | すみだ共生社会推進センター | 社会福祉会館 | みどりコミュニティセンター | 本所地域プラザ | 八広地域プラザ | すみだ生涯学習センター | すみだトリフォニーホール | すみだ北斎美術館 | スポーツプラザ梅若 | ひがしんアリーナ(区総合体育館) |
|---------------|---------------|---------|---------------|----------|----------|-------------|--------------|----------------|----------------|------------------|
| 施設全体のコスト | 1億1116万円 | 9906万円 | 1億656万円 | 8137万円 | 1億2963万円 | 3億677万円 | 10億3804万円 | 3億1445万円 | 5090万円 | 4億7399万円 |
| 区民1人当たりの税金充当額 | 373円 | 343円 | 373円 | 285円 | 454円 | 1074円 | 3584円 | 1101円 | 179円 | 1659円 |
| 施設名称 | すみだスポーツ健康センター | すみだ産業会館 | いきいきプラザ | 横川橋保育園 | 亀沢保育園 | 文花児童館 | 押上駅前自転車駐車場 | 錦糸町駅北口地下自転車駐車場 | 錦糸町駅南口地下自転車駐車場 | すみだ郷土文化資料館 |
| 施設全体のコスト | 2億1872万円 | 6906万円 | 6337万円 | 2億8682万円 | 2億9187万円 | 7191万円 | 1億1106万円 | 1億5256万円 | 7741万円 | 1億4816万円 |
| 区民1人当たりの税金充当額 | 766円 | 140円 | 157円 | 970円 | 944円 | 234円 | 175円 | 304円 | 196円 | 516円 |

③広く区民に利用されている公共施設のうち、原則として受益者負担のある施設や利用者が相当数ある施設から、20施設を選定して作成しました。

④各施設の行政コストなどの詳細は、区HPをご覧ください。

⑤区民1人当たりの税金充当額は、6年4月1日現在の人口1人当たりで、施設全体のコストから収入を差し引いた金額を算出したものです。

■ 純資産変動計算書(表5)

貸借対照表(表3)の「純資産合計」に計上されている数値の1年間の変動を示した表です。5年度末の純資産残高(A)が約3712億円に対し、6年度末の純資産残高(C)は約3797億円となり、約85億円増加(B)しました。

| 区分 | 金額 |
|-----------------------|----------------|
| 前年度末純資産残高 (A) | 3711億 7559万円 |
| 純行政コスト | △ 1722億 2074万円 |
| 財源 | 1808億 1332万円 |
| 税収等 | 1123億 7798万円 |
| 国県等補助金 | 684億 3534万円 |
| 無償所管換等 | △ 5889万円 |
| 本年度純資産変動額 (B) | 85億 3369万円 |
| 本年度末純資産残高 (C)=(A)+(B) | 3797億 928万円 |

■ 資金収支計算書(表6)

一会計年度において、資金がどのように調達・活用されたかを、3つの区分に分けて示した表です。業務活動収支で、6年度は約138億円の余剰(A)が生じました。これが、道路・学校等の公共施設整備や、基金の積立・地方債の償還などの投資・財務的活動の財源となっています。6年度の資金収支は約4億円の増加(D)となり、歳計外現金は約3億円の増加(H)となったことから、年度末現金預金残高(J)は、約119億円となっています。

| 区分 | 金額 |
|--------------------------------|---------------------------|
| 業務活動 収支 | 業務支出(人件費、物件費、補助金、社会保障給付等) |
| | 1713億 788万円 |
| | 業務収入(税収、補助金、使用料及び手数料等) |
| | 1851億 5573万円 |
| 臨時支出(災害復旧事業費等) | 0円 |
| 臨時収入 | 0円 |
| 計 (A) | 138億 4785万円 |
| 投資活動 収支 | 投資活動支出(公共施設等整備費、基金積立金等) |
| | 205億 5836万円 |
| 投資活動収入(補助金、基金取崩等) | 73億 4690万円 |
| 計 (B) | △ 132億 1146万円 |
| 財務活動 収支 | 財務活動支出(地方債償還等) |
| | 31億 8808万円 |
| | 財務活動収入(地方債発行) |
| 計 (C) | 29億 4400万円 |
| 本年度資金収支額 (D) = (A) + (B) + (C) | 3億 9231万円 |
| 前年度末資金残高 (E) | 71億 4732万円 |
| 本年度末資金残高 (F) = (D) + (E) | 75億 3963万円 |
| 前年度末歳計外現金残高 (G) | 39億 9390万円 |
| 本年度歳計外現金増減額 (H) | 3億 4432万円 |
| 本年度末歳計外現金残高 (I) = (G) + (H) | 43億 3822万円 |
| 本年度末現金預金残高 (J) = (F) + (I) | 118億 7785万円 |

健全化判断比率

財政状況を早期に把握し破綻を防ぐため、下表の4区分による健全化判断比率を算出しています。6年度決算では、4区分全てが国の定める早期健全化基準を下回り、区の財政が健全であることを示しています。

| 区分 | 墨田区 | 早期健全化基準(参考) |
|----------|------|-------------|
| 実質赤字比率 | — | 11.25% |
| 連結実質赤字比率 | — | 16.25% |
| 実質公債費比率 | 0.0% | 25.00% |
| 将来負担比率 | — | 350.00% |

⑥6年度決算では、全ての会計で黒字となつたため、実質赤字比率・連結実質赤字比率は算出されませんでした。また、将来負担比率は、充当可能な財源が将来負担額を上回ったため、算出されませんでした。